



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 榑田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	3,711	△3.6	296	—	308	—	114	—
28年6月期第1四半期	3,851	△38.6	△151	—	△171	—	△141	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	15.93	15.88
28年6月期第1四半期	△19.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	19,451	14,869	76.2
28年6月期	19,196	14,973	77.7

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 14,819百万円 28年6月期 14,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	△17.7	367	53.2	379	61.5	160	40.2	22.29
通期	14,000	△19.5	647	△24.7	659	△19.3	340	△0.3	47.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	7,265,212 株	28年6月期	7,265,212 株
29年6月期1Q	87,169 株	28年6月期	87,169 株
29年6月期1Q	7,265,212 株	28年6月期1Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、弱いながらも回復基調が続く米国経済、英国のEU離脱問題から流動化している欧州経済、そして成長ペースの鈍化が続く中国経済といった海外の経済環境の中で、全体として回復の動きに足踏みがみられる状況が続きました。また、日米の金利政策の動向に為替相場や資源価格が反応して、不安定な状況が続きました。

このような経済環境の中、ガラス溶解装置向け白金製品、HD向けのルテニウムターゲット、及びケミカル関連の受注が減少しましたが、各種電子部品や電子デバイス、半導体の需要は底固く、スマートフォン向け製品を中心に受注が堅調に推移いたしました。また、前年同四半期実施したようなたな卸資産の評価減がありませんでした。その結果、当第1四半期累計期間において、売上高3,711百万円(前年同四半期比3.6%減)、売上総利益830百万円(前年同四半期比163.5%増)、営業利益296百万円(前年同四半期は151百万円の営業損失)、経常利益308百万円(前年同四半期は171百万円の経常損失)、四半期純利益114百万円(前年同四半期は141百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

ガラス溶解装置向け白金製品の受注が伸び悩みましたが、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注が堅調、かつ予想に比して前倒しの受注となり、売上高1,794百万円(前年同四半期比3.7%増)、売上総利益530百万円(前年同四半期比30.6%増)となりました。

[薄膜]

HD向けルテニウムターゲットの受注が減少しましたが、スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットやBAWデバイス(高周波信号を取り出すデバイス)向けターゲットの受注が堅調に推移したことから、売上高1,172百万円(前年同四半期比7.6%増)、売上総利益155百万円(前年同四半期比23.4%増)となりました。

[センサー]

海外半導体メーカーからの受注が堅調に推移したものの、半導体製造装置メーカーや国内半導体メーカーからの受注が鈍化し、売上高481百万円(前年同四半期比7.5%増)、売上総利益114百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。

[その他]

使用済み電極の回収精製や貴金属化合物の受注が伸び悩んだことに加え、触媒材料の受注が低調だったことから、売上高262百万円(前年同四半期比54.9%減)、売上総利益29百万円(前年同四半期比67.9%減)となりました。

②海外売上

当第1四半期累計期間における輸出売上高は873百万円(総売上高に占める割合は23.5%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高608百万円(海外売上高に占める割合は69.7%)、北米向け輸出売上高228百万円(海外売上高に占める割合は26.2%)、欧州向け輸出売上高36百万円(海外売上高に占める割合は4.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は19,451百万円(前事業年度末比255百万円の増加)、負債は4,581百万円(前事業年度末比359百万円の増加)、純資産は14,869百万円(前事業年度末比103百万円の減少)となりました。

①流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産残高は10,448百万円となり、前事業年度末比328百万円増加いたしました。これは未収消費税等が124百万円減少しましたが、売掛金が370百万円、たな卸資産が151百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産残高は9,003百万円となり、前事業年度末比72百万円減少いたしました。これは有形固定資産が78百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債残高は2,517百万円となり、前事業年度末比530百万円増加いたしました。これは1年内返済予定長期借入金が107百万円減少しましたが、短期借入金が600百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債残高は2,064百万円となり、前事業年度末比171百万円減少いたしました。これは長期借入金が167百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期会計期間末における純資産残高は14,869百万円となり、前事業年度末比103百万円減少いたしました。これは繰越利益剰余金が104百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年11月1日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しております計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前事業年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金及び評価・換算差額等に加算しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が139百万円、利益剰余金期首残高が139百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027	1,014
受取手形	130	90
売掛金	1,776	2,147
商品及び製品	490	212
仕掛品	624	994
原材料及び貯蔵品	5,572	5,633
前払費用	60	47
繰延税金資産	140	153
関係会社短期貸付金	90	92
未収消費税等	173	49
その他	32	13
流動資産合計	10,120	10,448
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,343	2,303
構築物(純額)	45	52
機械及び装置(純額)	3,621	3,566
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	30	28
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	41	47
建設仮勘定	76	82
有形固定資産合計	7,770	7,692
無形固定資産	83	79
投資その他の資産		
投資有価証券	6	15
関係会社株式	68	59
保険積立金	31	32
長期前払費用	6	6
繰延税金資産	1,054	1,062
その他	55	55
投資その他の資産合計	1,221	1,231
固定資産合計	9,076	9,003
資産合計	19,196	19,451

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	329	296
短期借入金	—	600
1年内返済予定の長期借入金	960	852
リース債務	13	14
未払金	258	368
未払法人税等	68	102
賞与引当金	186	95
役員賞与引当金	18	—
設備関係未払金	15	8
前受金	40	23
その他	96	155
流動負債合計	1,986	2,517
固定負債		
長期借入金	1,385	1,217
リース債務	31	35
長期未払金	405	405
退職給付引当金	393	385
資産除去債務	15	16
その他	4	4
固定負債合計	2,235	2,064
負債合計	4,222	4,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	4,238	4,133
自己株式	△263	△263
株主資本合計	14,924	14,819
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	51	51
純資産合計	14,973	14,869
負債純資産合計	19,196	19,451

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,851	3,711
売上原価	3,535	2,881
売上総利益	315	830
販売費及び一般管理費	466	533
営業利益又は営業損失(△)	△151	296
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	0
助成金収入	—	15
雑収入	7	2
営業外収益合計	7	18
営業外費用		
支払利息	10	7
デリバティブ評価損	0	—
雑損失	0	0
為替差損	16	—
営業外費用合計	28	7
経常利益又は経常損失(△)	△171	308
特別利益		
受取保険金	—	1
特別利益合計	—	1
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△171	309
法人税、住民税及び事業税	4	76
法人税等調整額	△34	119
法人税等合計	△30	195
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△141	114

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	1,730	1,090	448	582	3,851
セグメント利益	406	126	128	90	750

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第1四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	750
たな卸資産評価減	△435
四半期財務諸表の売上総利益	315

II 当第1四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	1,794	1,172	481	262	3,711
セグメント利益	530	155	114	29	830

(注) セグメント利益の合計額は、当第1四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致しております。